令和８年度　第３回瑞浪市市之瀬廣太記念美術館協議会　会議録

日　時：令和８年 11 月４日（水）10 時 00 分～11 時 30 分
会　場：瑞浪市化石博物館 レクチャールーム
出席者　＜協議会委員＞　柴田　増三（社会教育関係者）※会長
　　小栗　茂　（学識経験のある者）
　　加納　礼爾（学識経験のある者）
　　藤井　志保（学校教育関係者）
　　早川　美幸（家庭教育の向上に資する活動を行う者）
　＜事務局＞　水野　義康（館長兼スポーツ文化課長）
　　河野　和弘

１　あいさつ

水野館長、柴田会長（内容は省略）。

２　報告事項

令和８年度事業中間報告について

１）普及活動の充実

①企画展の開催

委　員：加納氏は中央公民館の陶芸教室で講師を務められた方で、展示されている作品も氏のこれまでの歩みがわかる良い内容である。

事務局：昨年度実施できなかったギャラリートークには 20 名以上の参加があった。まだ見ていない委員の方にはぜひ見ていただきたい。

②講座の開催

委　員：全国で活躍している作家から、その手仕事を指導してもらえる貴重な機会なので、今後もぜひ継続して実施してほしい。

３　協議事項

令和９年度事業計画について

１）普及活動の充実

①展示学習会等の実施

委　員：現在明世小学校と実施している展示学習会が、他の学校や地区へも広がるとよい。明世小学校以外の教諭の思いやニーズをくみ取り他学校でも開催できる具体的な方法を検討してはどうか。

委　員：明世小学校で実施した背景には、他地区では各コミュニティーセンターで作品の展示を行っているが、明世小学校区にはコミュニティーセンターのように発表できる場がなかったためという理由がある。コミュニティーセンターがある地区では、地区の文化祭

等のイベントと開催時期が重なり調整は難しいだろう。他地区で実施するのであれば瑞浪地区、瑞浪小学校が理想と思われる。

委　員：他の学校で開催するのであれば、早めに学校へ開催の打診や依頼を行う必要がある。また明世小学校との展示学習会自体を知らない教諭も多い。校長会や教頭会などの場で広報すべきと考える。

事務局：まずは校長会等の場で展示学習会の広報を行うとともに、今後は他の学校や地区での開催について検討する。

委　員：協議会委員による展示解説について、名称を変更したい。「展示解説」では、学芸員が作家の解説や制作背景等まで事細かに調べたうえで説明するというニュアンスに思われる。例えば「鑑賞会」という名称に変更したい。

委　員：大変有意義でありがたい企画だが、来年度のスケジュールや自身の勤務等が不透明な委員もいる。今後事務局と実施に向けたスケジュールを調整させていただきたい。

事務局：承知した。

②講座等の開催

委　員：新たな講座メニューが計画されたことは大変良いと思うのでぜひ進めていただきたい。ただし、代わりに今までの「化石で作る！彫刻講座」がなくなる計画となっている。長年講師を務められた天野裕夫氏とどのような話がなされたのかお伺いする。講座では著名な彫刻家である氏に熱心なご指導をいただいてきたので、今後も良好な関係を保つためにも丁寧な説明で区切りをつけるべきではないか。

委　員：可能であれば、３つとも講座を開催できないか。当館はこれまで彫刻作品にこだわらず、開かれた美術館という形で様々なジャンルの美術作品を取り扱ってきた。メニューを増やしつつ、彫刻講座の講師を今後も継続していただけるならありがたいと思う。

事務局：彫刻講座の継続に関する氏の考えは、後日事務局で確認しお答えさせていただきたい。

委　員：承知した。

【後日、天野氏からマンネリ化しているため、例えば講座を毎年でなく隔年開催にしたいとの申し出が事務局にあったことを各委員へ説明した。】

令和９年度以降の開館日について

【事務局より資料を用いて令和９年度以降の開館日案（９年度は従来どおり週６日開館、10 年度は縮小［土日祝日、展覧会会期等の開館］）について説明】

会　長：前回の協議会で出された意見を踏まえ、事務局から今後の開館日案について説明があった。ご意見等あれば発言いただきたい。

委　員：本来であれば、文化芸術や社会教育の拠点として開館したいところを、運営側の都合で閉館しているので、学校が社会見学等で使用する際には開館すべきと考える。事務局案には明記されていないので、学校から施設利用を希望された場合も開館日として追記してほしい。

事務局：承知した。

委　員：開館日の検討だけでなく、美術専門の人材を配置することも必要と考える。常勤学芸員の配置が理想だが、財政状況を踏まえ、ボランティアガイドの導入や非常勤スタッフの配置を検討すべきである。

会　長：以上、事務局案に対して意見が出された。概ね事務局案に反対する意見はないと思われるので、令和９年度以降の開館日について事務局案を当協議会の総意としてよろしいか。

【特に意見や質問は無し】

会　長：それでは他に意見等もないようなので、事務局案を当協議会の総意とする。なお、当館の企画展とともに瑞浪市陶磁資料館においても大正時代から昭和初期に活躍した郷土の洋画家、宮地志行の企画展を開催中である。観覧を希望する委員は会議後に両企画展に足を運んでいただきたい。観覧後は現地にて散会とする。

【会議後に２館の企画展を観覧し、散会】